

虎屋 京都ギャラリー第16回企画展

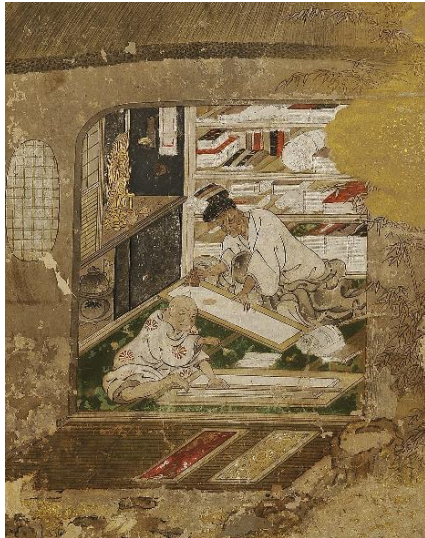
2017年9月吉日

# 守る・伝える・愛でる 表具の世界 展

2017年10月21日(土)～12月10日(日)

於：虎屋 京都ギャラリー (虎屋菓寮 京都一条店横)

美術品の保存と鑑賞を両立させる表具に注目し、材料・道具のほか、虎屋所蔵品を中心に、美しい裂地きれじや描かれた表具、刺繍の作品を紹介。ぜひ表具の世界をご堪能ください。



紙本着色職人尽絵屏風 経師  
所蔵：喜多院 写真提供：川越市立博物館



黒川光正像 ※虎屋十二代店主

## 京都初公開！虎屋十二代店主の肖像画ほか虎屋所蔵品から厳選

本人着用かみしもの袴かみしもを表具に用いたと伝えられる虎屋十二代店主の肖像画。通常は東京に保管されており、今回が京都での初公開となります。

また、国宝や重文の修理を手がけてきた表具の老舗、宇佐美松鶴堂様のご好意で出展いたします「装潢帖そうこうちょう」は、専用の裂地きれじを用い、書画も特別に依頼したというミニチュア掛軸の見本帖。六代目のご当主が観賞用に制作したとされ、細部まで精巧に仕立てられた逸品です。このほか、なかなか目にする機会のない表具裂の反物なども展示します。

### 【展示概要】

期間：2017年10月21日(土)～12月10日(日) 午前10時～午後5時 入場無料

場所：虎屋 京都ギャラリー (虎屋菓寮 京都一条店横) 地下鉄今出川駅6番出口より徒歩約7分

展示品：装潢帖、名物裂の貼込帳 (いずれも宇佐美松鶴堂蔵)、裂地や軸先に特徴のある掛軸など7点、  
黒川光正像 (額装)、裂地の貼込帖3点ほか

休館日：10月30日(月)、11月27日(月)

協力：株式会社宇佐美松鶴堂 ※江戸時代天明年間、西本願寺前にて表具業を創業。本願寺および全国末寺をはじめ、一般得意先の表装を手がけるほか、戦後、京都国立博物館内の文化財保存修理所で国宝や重文を含む文化財修理を行ってきた。現在の当主は九代目宇佐美直八を平成26年(2014)に襲名した。

《本件に関するお問い合わせ》

株式会社虎屋 京都管理部文化事業課 京都市上京区一条通烏丸西入広橋殿町400 担当：相田

電話：075-431-4736 Fax：075-431-1063 E-mail：kyotobunka@toraya-group.co.jp